

ワールド風

(現場)からの風

宮田守男

昨日は、1846年のこの日、アメリカのニュージャージー州で公式記録に残る史上初の野球試合が開催。「ベースボール記念日」となった。

メジャーリーグは各球団162試合戦い、その後約1カ月かけてワールドカードシリーズ・地区シリーズ・リーグ優勝決定シリーズ・ワールドシリーズと10月31日まで熱戦が続く。

現在メジャーリーグには、ドジャーズに大谷翔平・山本由伸・佐々木朗希、パドレスにダルビッシュ有・松井裕樹、カブスに鈴木誠也・今永昇太、Rソックスに吉田正尚、タイガースに前田健太、カーシナルスにヌートバー、メッツに千賀滉大、ナショナルズに小笠原慎之介、オ

リオールズに菅野智之が在籍しておりメジャーリーグでの日本人選手の活躍は大きな勇氣と活力を力強く伝えていく。

日本人が野球を愛する要因の最大功労者である「ミスタープロ野球」と呼ばれた元巨人の長嶋茂雄

長嶋茂雄さんの功績を忍ぶ

漫画家・竜樹涼さん

さんが、背番号と同じ3日に逝去した。天覧試合でのサヨナラ本塁打など大舞台で活躍「燃える男」との異名や「巨人・大鵬・卵焼き」など全国民が愛した言葉は忘れられがたい。テレビやラジオは、ほぼ巨人

戦の中継、特に長嶋選手の活躍は熱狂的に伝えられた。野球が広く国民に愛され続け、日本に希望を与えた功績は忘れることができない。また2004年に脳梗塞で倒れながらも懸命なりハビリに取り

できない。

記念日は記憶の残る日を定めることが多い。「長嶋茂雄記念日」を制定するならば背番号にちなんで「3月3日」となれば、永遠に長嶋茂雄さんを忍ぶ日となってほしいと願ってしまふ。

組む姿は社会に強いメッセージを伝え続け、21年開催の東京五輪では、自らの足で立ちトーチを左手一本で持って国立競技場に入ってきた聖火をつないだ記憶や、全国の後遺症の人に発信したエールは忘れられることが

の作品「私が見た未来完全版」の本の帯には「本当の大震災は2025年7月にやってくる」の予言が、国内外でさまざまな影響を及ぼしている。桜島では先月146回と前の月のおよそ7倍の噴火。山口県北部では6



白馬村スポーツ祭。ユニホームのない選手にゼッケンを付けた選手の活躍は球技人気の盛り上がり要因か。

月2日までに観測された地震の回数は3640回で専門家は「なぜ地震が起きているかわからない」との情報。北海道でも地震が相次

ぎ、常日頃から地震への備えをと再認識する。
(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)